

# 西海ブロック水産業情報

NO. 89 (平成27年4月～6月)

## 増養殖情報

山口県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県
	<p>○筑前海(沿岸・沖合) 今漁期のフトモズク養殖生産量は10.4トンで、前年比の約5倍と好調であった。市場単価が低額のため生産を終了した。</p> <p>○豊前海 【カキ養殖】 ・魚類による食害対策を実施中。被害は軽微。成長、生残とも良好に推移。 ・カキ養殖をしている全漁協(支所)で自家採苗を実施予定。 【栽培漁業】 ・クルマエビ及びひがザミの中間育成を実施。 ・「かぐや方式」によるアサリ増殖試験を実施中。 【資源管理】 ・5月1日から、抱卵ガザミの再放流を実施。</p> <p>○有明海 (ノリ養殖)カキ殻糸状体培養は、開始から3ヶ月が経過した。概ね順調。</p>	<p>○玄海 ・カサゴ:4月下旬から6月中旬に中間育成用約15万尾(45mmサイズ)配布済。 ・アカウニ:4月上旬から6月中旬に放流用約34万個(10～15mmサイズ)、養殖用約2万個(10～15mmサイズ)配布済。 ・クロアワビ: 平成25年度産:4月中旬から6月中旬に放流用約6万個(30mmサイズ)配布済。 平成26年度産:殻長6～15mm 約27万個飼育中。 ・ナマコ:アオナマコ約150万個、アカナマコ約50万個飼育中。7月上旬より約115万個(10～20mmサイズ)配布予定。</p> <p>○有明海 ・クラゲ資源保護 近年、夏場の重要な漁獲対象となっているビゼンクラゲの資源保護を目的として、佐賀県有明海区漁業調整委員会指示により、傘幅40cm未満の採捕禁止や、禁漁期(～6月30日まで)、禁漁区の指示を行った。 ・サルボウ天然採苗 平成27年度は平年に比べ、浮遊幼生数、付着稚貝数とも多い状況となっている。</p>		<p>● 養殖マダイにおいてベネデニア・セキイ寄生による被害(斃死は少ないが、商品価値が著しく低下している)が県内各地で発生。 ● クルマエビの種苗生産施設において、PAV感染による大量斃死が1件発生。</p>

鹿児島県	宮崎県	大分県	沖縄県
<p>・スジアラ種苗生産:6月に採卵し、種苗生産中 ・カンバチ種苗生産:4、5月に人工種苗由来の3才、9才の親魚から採卵 ・イワガキ種苗生産:6月に採卵し、種苗生産中 ・5/19～6/6鹿児島湾でChattonella marina等による赤潮が発生 ・6/6～6/16八代海でChattonella antiquaが一時増殖</p>	<p>県北の一部沿岸域で5月15日に採取したムラサキインコにおいて、マウス試験値4.4MU/gの麻痺性貝毒が検出され、6月23日まで1か月強の期間、二枚貝出荷自主規制が行われた。貝毒に係る出荷自主規制は平成13年度に行われて以来、PSP毒力は散発的に2MU/g台の値が検出されるものの、自主規制レベルを超えることはなかったが、今年度は最高7.9MU/gとなり、14年ぶりに規制が行われた。</p>		